## 建産 機 P

改装したキッズルーム 多くの女性社員が現場で働く正、和室の休憩所を



ケン工業(本社・静岡県磐田 コンセプトに、工場内の作業 環境づくりを推進している。 自の施策で社員の働きやすい 市、社長・大石剛氏)は、独 イプ部品加工を手掛けるコー チームコーケンの幸せ」を 農業機械や建産機向けのパ 対応機能の維持、新たな技術 本的に特別扱いはせず、一般 適した職場への配属を行って

そのうち60歳以上が3割弱。 社からの再就職者も多い。 80代の社員は最高齢の80歳ををヒアリング。「本人に働く意 勤務している社員のほか、他

仕事面での課題、困り事など

苦肉の策」で開始 っている」と大石社長は語る。

いる。シニア世代の社員を基はなく、個人の個性や希望に 社員の採用が難しかったとき 雇用も始め、雇用率は5・59 は同社の大きな戦力となって 注力。特別な制度や専門部署 7世代の雇用だったが、今で 作業ができる環境づくり」に 「苦肉の策」で始めたシニ %を誇る。これまでも「楽に もともとバブル時代に若い 1997年からは障がい者

験の伝承は、若い世代や一般 め、工場の現場に入るスタッ ージガイドの現場リーダーは いる。今年2月には「えるぼ している女性社員も30人以上 女性。ガス溶接の資格を保有

ある「3つ星」も取得した。

**面倒を見るようにしている**。

## もらっている。大石社長が所 仕事の場を提供するほか、磐 談を行い、各人の体調管理や 別支援学校からの研修、職場 田市と近隣の袋井市にある特 リニューアルした食堂

意分野である多品種小ロット 見、技術の融合が、同社の得

~8代の約340人が働く。

社員、派遣社員らを含めて10 属の上長や総務課長と適宜面

・製品開発につながっている。社員と同じ社員研修を受けている。障がい者施設と提携し、

多数のシニア世代や女性が現場で活躍

心で働きやすい環境で

環境や社内体制を整備。現場

らが活躍する。老若男女の知

コーケン工業では役員、正

では多くのシニア世代や女性

体験も受け入れる。 や座談会なども開催してお 取引先の女性社員らとの交流 は7代目で6人が参加。主要

改装。社員が交代で子どもの ている。 和室休憩所をキッズルームに 多い。土曜日の子連れ出勤な %。復帰後は時短勤務制度や どに対応するため、工場内の 子連れ出勤を利用する社員も 女性の育休取得率は100

福利厚生も充実

前の9月に工場内にある社員 面の充実も図っている。2年 コーケン工業では福利厚生

筆頭に10人いる。定年前から 思のある間は働いてもらう。性。小径のパイプ部品加工が というプロジェクトをスター し、出来たての料理をその場 ベテランのノウハウや人生経 多く重量物があまりないた ト。作業環境向上、職場の3 で提供。会社からの給食補助 社員にとっても大変刺激にな フも多い。自動ロウ付機やゲ 性の声を生かした改善活動を で食べることができる。 開放 し認定」の認定段階最高位で り、来月にはタイにある合弁 いた焼き立てパンやお菓子も 同社全従業員の約4割が女 ーケン・レディース・チーム) た。社内で調理できる厨房に 行っている。現在のメンバー 的なオープンスペースで、社 S推進、福利厚生面など、女<br />
で、1食当たり200円以内 会社で視察研修を行う予定買える。 2019年からKLT(コ 食堂を大幅にリニューアル Nshop」では、厨房で焼 る。新設した売店「KOKE 員らの憩いの場にもなってい

の中小企業庁長官賞を受賞し ばん大切にしたい会社」大賞 され、17年には「日本でいち 工業。一連の取り組みが評価 キルを発揮しているコーケン る社員が適材適所で各人のス 世代を超えた労働意欲のあ

考になる部分が大いにありそ の人手不足や採用に苦労して いる中小加工業にとっても参 同社の取り組みには、